

週報

令和 6 年 9 月 13 日

2024～2025年度 No. 8

2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

Rotary



国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック



ロータリーの
マジック

プログラム

S A A 西上裕一郎君

☆点 鐘

☆ロータリーソング斉唱

「我らの生業」

☆四つのテスト斉唱

☆食 事 懇 談

☆会長の時間

☆幹 事 報 告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部 内 卓 話

「ロータリーの友月間卓話」

寺澤 信義君

☆点 鐘

現 在 会 員					前々回の欠席者 (8/23)							
30名					9名							
本 日	出席	18名	欠席	9名	免除(a)欠席	2名	免除(b)欠席	1名	出席率	66.67%		
前々回	出席	16名	MU	1名	免除(a)MU	2名	免除(b)MU	2名	修正出席率	65.38%		
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
	本年度 78.04	71.13	69.88									
	前年度 77.26	83.66	87.66	84.78	89.40	90.22	92.55	95.45	88.38	88.46	89.64	75.41

例会場
例 会
事務所
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
金曜日(12時30分～13時30分)
長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 片 山 雅 文
副 会 長 柳 田 靖 夫
幹 事 有 川 真 史
雑誌・会報委員長 市 村 篤

会長の時間

副会長 柳田 靖夫君

今年の夏は、地球温暖化を肌で感じられる夏になりました。昼間は35℃近く、夜は25℃を下回らない熱帯夜になる毎日でした。日本は温帯地域に属しているという認識でしたが、亜熱帯に近づいていると感じているのは私だけではないと思っています。日本近海の海水温は30℃もあり、27℃以上で発達するという台風が、スーパー台風になって五島を直撃するようになるかもしれないと危惧しています。現に、中国とベトナムにスーパー台風が上陸し、ベトナムでは家屋が倒壊するなど甚大な被害をもたらただけでなく、200名以上の尊い人命が奪われました。

それでは今日は、雨の強さと降り方の基準についてお話します。

「非常に激しい雨」「猛烈な雨」とは、雨の強さと降り方の基準について解説

この「非常に激しい雨」「猛烈な雨」というのは、具体的にどのような雨の強さなのだろう。気象庁では雨の強さと降り方について、以下のような基準を設けている。

『やや強い雨』

1時間雨量…10mm以上～20mm未満

- ・イメージ…ザーザーと降る。
- ・人への影響、屋外の様子…地面からの跳ね返りで足元がぬれる。地面一面に水たまりができる。
- ・災害発生状況…この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。

※雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子は異なる。

『強い雨』

1時間雨量…20mm以上～30mm未満

- ・イメージ…どしゃ降り。
- ・人への影響、屋外の様子…傘をさしていても濡れる。車に乗っていてワイパーを速くしても見づらい。
- ・災害発生状況…側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。

『激しい雨』

1時間雨量…30mm以上～50mm未満

- ・イメージ…バケツをひっくり返したように降る。
- ・人への影響、屋外の様子…道路が川のようになる。車では高速走行時に、車輪と路面の間に水

膜が生じ、ブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）。

- ・災害発生状況…山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。

『非常に激しい雨』

1時間雨量…50mm以上～80mm未満

- ・イメージ…滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）

幹事報告

幹事 有川 真史君

【当クラブ関係】

※9月6日に開催した第3回定例理事会の報告

(1) 故田口厚バスターガバナーの供え花代について
副幹事松岡さんより詳細について説明。

- ・長崎北ロータリークラブから「8月24日にご逝去された田口厚バスターガバナーに第9・第10グループロータリークラブとしてお花を供えさせていただきました。ご賛同されるクラブについては、花代費用を頭割りにさせていただきますたく存じます」との内容が事務局に届きました。福江ロータリークラブからも一部費用を負担するという内容で、ご承認をいただきました。

また、福江ロータリークラブ第3回理事会議事録を作成しましたのでご確認ください。

1. 次週9月20日（金）と9月27日（金）の例会は、クラブ定款第7条第1節d項により休会と致しますので、次回の例会は10月4日（金）となります。
2. 9月18日（水）平安閣サンプリエールにて第1回会長・幹事会が開催されますので、片山会長と私で行って参ります。

委員会報告

出席報告

- ◆ 9月13日（欠席者メイクアップ）
片山 雅文君 張本 民雄君 山里 一郎君
- ◆ 9月13日（免除(a)欠席者）
植松 郁雄君 中村 博義君
- ◆ 9月13日（免除(b)欠席者）
吉田 泰之君

◆ 9月13日欠席者

小畑 和男君 坂井 成光君 橋本 武敏君
宮脇 秀至君 森 正明君 市村 篤史君
野崎 薫君 井上 貴之君 村田 修君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇寺澤 信義君 本日、卓話をさせていただきます。ご清聴よろしくお願いします。
- ◇有川 真史君 先日の鑑瀬清掃活動ご参加の皆様、暑い中大変お疲れさまでした。
- ◇中村 栄治君 ”
- ◇神之浦文彦君 ”
- ◇山下 克己君 ”
- ◇山口 裕之君 ”
- ◇浅野 謙君 ”
- ◇柳田 靖夫君 寺澤さん、本日の「ロータリーの友月間卓話」よろしくお願いします。
- ◇清瀧 誠司君 ”
- ◇戸田 博之君 ”
- ◇山下 実君 ”
- ◇平村 和弘君 ”
- ◇松岡 孝博君 ”
- ◇才津 喜彦君 ”
- ◇西上裕一郎君 ”

合計 15,000円

通算合計 157,000円

部内卓話

「ロータリーの友月間卓話」

寺澤 信義君



皆様、こんにちは。

本日は「ロータリーの友」に沿ったテーマでの卓話依頼を受けましたので、少しお時間を頂いてお話させて下さい。宜しくお願いいたします。

先ず、ロータリアンとしての期間がまだ短く、未熟であることを踏まえてお聞き頂きたいですし、次回先輩方も同テーマに合わせて深掘して頂けたら幸いです。

私は前年度、「雑誌・会報委員会」の委員長を拝命しておりますので、「ロータリーの友」はそれから意識して目を通すようになりました。

今でも覚えています、最初の印象は表紙と裏表紙の違いが分かりにくく、どちらから読み進めれば良いのかすら分かりませんでした。そして、いつも思うことが個性的な「絵」、「写真」です。昨年度は「スタジオ ジャングルジム」という会社が手掛けており、今年度は障害者の作品が描かれております。また、「ロータリーの友」は左にページをめくっていくと、R I 会長のメッセージに始まり、国際的な取り組みが紹介されています（横書き）。逆に右にページをめくって読み進めていくと、「S P E E C H」という項目で、ある人物にスポットを当てた特集が紹介されています（縦書き）。少し「ロータリーの友」を見てみようと興味を持たれたら、右にページをめくって読み進める方が先ずは読みやすいのではないかと思います。

なぜ「ロータリーの友」を読むのか？それはロータリーのロータリアンであるためです。そのロータリアンの資格は、ロータリアンの三大義務を守っているかどうかです。一番目は、「会費の納入」です。しかし、これだけではクラブ会員ですがロータリアンではありません。二番目は、「例会への出席」です。しかし、これだけではクラブのロータリアンですが、ロータリーのロータリアンではありません。三番目は、「ロータリー雑誌の購読」です。この「友」の横組みは、「The Rotarian」の中から世界のロータリアンに向けた記事の日本語訳が掲載されています。縦組みには、日本国内のロータリークラブに関連した記事が掲載されています。「友」を読むことにより、日本、世界のロータリアンと情報を同時に共有することが出来ます。これで、はじめてロータリーのロータリアンになれると大阪南R C 木村芳樹氏がお話されておりました。

また、1905年2月23日にたった4人で始まったクラブは、ラグルスをはじめ多くの会員が入会してどんどん大きくなり、2年後の1907年から1910

年にかけてロータリー最初の危機が起きました。シカゴクラブ内では、ポール達の「奉仕派」とラグルス達の「親睦派」に分裂して混乱が起きたのです。「奉仕か親睦か」。

1910年には16クラブに増えて「第1回ロータリークラブ連合会大会」が開催されて、初代会長はポール・ハリスとなりました。この連合会設立は「奉仕か親睦か」の混乱を鎮める意味合いもあり、クラブは親睦を連合会は奉仕をとりまとめるということで収拾をはかろうとしました。このシカゴ大会の終わった1910年末に、ポールはエッセイを書いています。

ポールは、1907年から親睦団体であるクラブの中に奉仕という概念を取り入れようとしていました。しかし、ロータリーにおける親睦と奉仕を上下関係において捉えることは誤りである。ロータリーとは寛容である。親睦も大切だが奉仕も大切。奉仕も大切だが親睦も大切。

こうして、ロータリーの情報を共有しようと1911年1月25日にポール・ハリスのエッセイが掲載された機関紙「ザ・ナショナルロータリアン」が創刊されました。これが、全世界のロータリアンのコミュニケーションの場であるロータリー雑誌の始まりで、ポール・ハリスの「合理的ロータリアニズム」が、この雑誌を生んだと言えます。

そして、戦後1949年、日本のRCはRI第60区として復帰し、1952年4月に大阪市中央公会堂で第60区最後の大会が開催されました。この地区大会で2地区になってからも、連絡を緊密にするために日本語による共通の機関誌創刊を企画いたしました。第1回準備会が大阪、1952年8月の岐阜第2回準備会で名称は「ロータリーの友」、横書きで1953年1月とするなど骨子が決まり、これが

「ロータリーの友」の始まりでした。当初は、自由購読で定価50円。当時は、英和辞典を片手に英文の「ザ・ロータリアン」を購読していた会員が多くて、売れ残りも多かったようです。その後、京都で開催されたロータリー50周年第60地区・61地区連合大会で完全購読制が決議されて、1972年1月から縦組みと横組みに分けた現在の形になりました。1972年1月号は、当時定価200円だったようです。

さて、「ロータリーの友」の発行の歴史について少しお話いたします。

1952年（昭和27）4月に行われた大会で、同年7月からの新年度から日本の地区は東日本と西日本に分割されることが決定していましたので、分割後もこれまで共に活動していた日本のロータリアンが緊密に連絡を取り合い、情報を共有する為の機関誌として企画され、翌年の1953年1月号が創刊号として発行されました。創刊号以降毎月発行されて、当時の価格は50円だったようです。（広告を取って内容は100円分）

現在の価格は、昨年7月号より税別250円です。「ロータリーの友」の名称の由来は、投票で決まったのですが、おつまみの「ビールの友」からヒントを得たのでは？と言う柏原孫左衛門氏の発言に一同爆笑だったそうですが、実際は「主婦の友」かららしいです。この雑誌、昭和28年生まれということは、吉田泰之さんより先輩です。

当初、当時としては画期的であった横書きでスタートした「ロータリーの友」ですが、その後に「俳壇」や「歌壇」等の横書きでは具合の悪い欄が始まった事で、1972年（昭和47）1月号から縦書きと横書きを分けて、それぞれに壽紙を付けることとなり現在に至ります。

ロータリー奉仕デー環境美化プロジェクト 鏡瀬海岸清掃活動 9月8日・社会奉仕委員会（福江中央RCと共同）

